第46回コンクリート工学講演会 | A. 材料・施工 | 特殊コンクリート

特殊コンクリート

座長:齋藤尚(土木),山﨑順二(建築)
2024年6月26日(水) 13:00 ～ 15:00 第2会場 (小展示室B)

[1192]特殊混和剤を添加した新しい暑中コンクリートの汎用性に関する実機レベルでの検討

伊佐治優[1], 桜井邦昭[1], 齊藤和秀[2], 大石卓哉[2] (1.大林組 2.竹本油脂)

キーワード：暑中コンクリート、特殊混和剤、流動性、許容打重ね時間間隔、ブリーディング、圧縮強度

生コン工場で製造したコンクリートに特殊混和剤を添加することで，施工性を改善できる新しい暑中コンクリートを開発している。本稿では，暑中期のコンクリート工事に幅広く汎用的に適用できることを検証するため，日本各地の生コン工場の呼び強度や流動性の異なるコンクリートを用いて実機レベルでの検討を行った。その結果，コンクリート温度に応じて特殊混和剤の添加量を調整することで，標準期の特殊混和剤を用いない普通コンクリートと同等以上の流動性を保持できること，材料や配合条件によらず幅広く適用できること，添加前後のフレッシュ性状の変化は小さく，硬化後の品質も同等であること等を確認した。

©公益社団法人 日本コンクリート工学会